

第3部会における議論のまとめ【タタキ台】

項目		子育て	教育	生涯学習・文化など
分野別目標	個別に目標設定したパターン	○ 子どもと子育てを社会全体で支え合い、子育ての楽しさや喜びを実感でき、次代を担う子どもたちが心豊かに自立心をもって成長するまち	○ 自ら考え、主体的に地域づくりを担う人を育む	○ 地域や世代・分野や領域など、さまざまな違いを認め合い、緩やかに連携し、新しい価値を生み出していく文化環境が身近な地域に整っている暮らし
	共通する目標設定としたパターン	○ 「思いやり・絆・支えあい」で、明日の杉並を築く人づくりを進める ○ 誰もが学びと成長に関わりあい、喜びを感じ、その成果を循環・継承できるまちをつくる ○ 誰もが生涯にわたって学びあい・成長しあい・輝きあえるまちを、みんなの力でつくり出す	○ 地域における多様なつながりの中で、心豊かで自立心を持った「次代を担う人」を育むまち ○ 地域の子育て力・教育力・文化力を高め、人々の学びと成長を支援する	
基本的な視点		① 子育てと子育てをライフステージに応じて切れ目なく支え、子どもの権利を尊重しながら、すべての子どもの健やかな成長と自立を支援する。 ② すべての子どもと子育て家庭を、行政・区民・事業者等が一体となって地域で見守り、支援・応援できるよう、家庭や地域の子育て力・教育力を高める。 ③ 少子化・核家族化の進行と長期的な経済の低迷が見込まれるなか、雇用や労働条件の変化にも対応した、仕事と家庭生活(子育て)の両立を支援する環境づくりを進める。 ④ 子育て支援サービスは、限られた財源のもと利用と負担の公平性や公民の役割分担を踏まえ、社会資源の有効活用を図りながら、より適切かつ効果的に提供する。	① 乳幼児期から、義務教育、その後の進学や社会人としての成長までを見通した人づくりの視点を重視する。 ② 子どもたちの「確かな学力」、「豊かな心」、「健康な心身」を育み、調和の取れた人間形成を目指した、質の高い学校教育を推進する。 ③ 少子高齢社会の進展の中で、次代を担う子どもたちの知力・体力を整えていく教育環境の整備を図るとともに、「人に優しい心」を一層育てる教育を重視する。	① 誰もが生涯にわたり、世代を越えた様々な人々との関わりの中で、意欲的に学び、スポーツに親しみ、その学習・活動成果の社会的活用が図れる生涯学習社会をつくる。 ② 地域文化の発掘・支援、及び発信。 ③ 地域で育つ児童、青少年への豊かな文化環境づくり。 ④ 異文化との相互理解とともに、共生社会の実現。 ⑤ 伝統の継承と新しい創造へ支援。 ⑥ 国内外の交流による民間事業等の活発化。 ⑦ 人権が尊重され、人々が相互に理解し・信頼し・支え合う平和な社会の実現。
政策の基本的な方向		【すべての子どもへの良質な成育環境を整え、地域全体で子どもの育ちと子育て家庭を応援するまちをつくる】 ① 働きながら安心して子どもを産み育てることのできる環境をつくるため、保育サービスと放課後児童対策の拡充を図る。 ② 妊娠・出産期、乳幼児期を経て、児童期から青少年期までの発達・成長段階に応じた、幼保一体化を含む教育・保育の充実と青少年の自立支援・社会参画を推進する。 ③ 子どもを虐待から守るとともに、特に支援を必要とする子どもや家庭に対する支援を進め、子育てセーフティネットを整備する。 ④ すべての子育て家庭が孤立せずに安心して子育てできるよう、地域で子育て・子育てを支え合う仕組みづくりを進める。	【一人ひとりの子どもの成長を支える、より質の高い学校教育を推進する】 ① 小・中学校の9年間を通して、子どもの成長・発達段階に応じ、順序立てた学習指導を行い、「知・徳・体」の調和の取れた人間形成を目指し、基礎基本を重視した「人生の基盤教育」を推進する。 ② 一人ひとりの子どもの心身の成長・発達や教育ニーズに即した、きめ細かな教育を推進する。 ③ 子どもの生きる力を培うため、世代間や異文化の交流、ボランティア活動など、様々な人々の関わりを各学校の特色ある教育活動に積極的に採り入れ、コミュニケーション能力を高める取組を推進する。 【家庭、地域、学校の連携・協働を進め、子どもたちの心豊かな成長を支援する】 ① 子どもの教育の原点である家庭の教育力を支え、高めていくしくみづくりを充実するとともに、地域の教育力、学校の教育力との連携・協働を推進する。 ② 区民一人ひとりが、社会の構成員を育てる教育の当事者であるという合意形成を進め、地域の中での子育て力、教育力を高める。 ③ 地域の人々が子どもたちとかわりを持つことで、共に育ち喜びを感じることができるよう、取組の継続性や広がりにつなげていく「知の循環型社会」を構築する。 ④ 今後の学校施設の更新・整備にあたっては、学校が地域の新しい公共空間になるとの視点に立って、有効活用できるように整備する。	【生涯にわたる豊かな区民生活を支える生涯学習・スポーツや文化・芸術活動などの基盤を整備する】 ① 区民一人ひとりが、自己実現や身近な課題の解決に向けて学ぶとともに、区民相互に学び合い、交流し、高め合う生涯学習社会を築く。 ② 様々な社会経験を積んだ高齢者や専門技術・技能等をもつ区民など、地域の人材を発掘し、育成・創造し、地域づくりに還元・継承・循環するしくみを築いていく。 ③ 区民一人ひとりが生活を営む身近な地域で、豊かな文化・スポーツ・交流が行える環境を積み上げながら、区内外への優れた文化発信に積極的に取り組む。 ・既存施設、事業、及び支援・助成についての役割と仕組みの整理と連携 ・文化政策、施策への提言や文化に関わる情報の収集・整理・発信などを行う付随機関の設置 ④ ワークライフバランスに配慮した社会環境づくりと人権が尊重される男女共同参画社会の実現をめざすとともに、人々の豊かな生活と活動の基礎となる平和な社会に向けた取組を推進する。

項目	子育て	教育	生涯学習・文化など
戦略的・重点的な取組の方向性	<p>【社会環境や区民ニーズの変化に対応した地域子育て支援の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 子どもの年齢や家庭の状況に応じて必要な支援を切れ目なく受けられるよう、子どもと子育てに係る公共施設の配置基準・ネットワークの見直しを行いながら、地域における子育て支援の拠点・サービスの充実を図り、子育てにやさしい地域社会づくりを推進する。 	<p>【自らの人生をしっかり切り拓いていける、「学びの連続性」を重視した教育の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 小中一貫教育を柱に、すべての子どもの心身の成長を支え、社会を構成する一員として、自信をもって自らの人生を切り拓いていけるようにするため、学びの連続性を重視した教育を推進する。 <p>【子どもの心身の発達・成長を細やかに支える教育の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 一人ひとりの子どもの学力・体力を高めるため、教師の力量形成を図り、基礎基本を大切にされたきめ細かな学習指導を行うとともに、子どもの発達状況や教育ニーズに応じ、適切な教育的支援を行うため、特別支援教育の充実を図る。 <p>【家庭・地域・学校の連携・協働の更なる推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 子どもの成長・発達の過程には、家庭も、地域も、学校もそれぞれ応分の教育責任を負うことが大切であり、地域運営学校や学校支援本部など、連携・協働のしくみの更なる拡充に取り組む。 	<p>【生涯学習・スポーツ、文化・芸術活動の基盤・環境整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 質の高い豊かな区民生活を教育・文化の側面から支えていくことが必要となるため、杉並に住まう全ての人々の学びと活動の場として、生涯学習・スポーツや文化・芸術活動の基盤と環境の整備を進める。
その他			